

令和6年度第2回湯河原町介護保険事業計画等策定委員会
〔令和7年1月15日 書面開催〕

長寿健康祝金の見直し案に対する意見集約について

1 77歳、88歳を廃止し、100歳のみとすることについて

- 平均寿命が長くなったので、町の財政を考えても見直し案で良いと思う。
- 特記なし、同意する。
- 賛成と考える。
- 見直しはよいと思う。寿命が延びても喜寿・米寿といった古来より伝わる祝事が忘れ去られないように望む。
- 現行のままだと、贈呈額の総額が膨大になり、財政を圧迫することから、やむを得ないと思う。
- 頂く側としては「100歳 50,000円」を目標に長寿に向かって努力はしないと思う。
77歳、100歳を廃止の上、88歳のみとし、金額は予算に合わせ10,000円とするなど。
- 80歳は当たり前の時代で、平均寿命も81.7歳で世界第2位。
今回は77歳のお祝いを対象から外し88歳と100歳とし、5～6年後に見直しを行い100歳の1本とするなど。
- 祝金を全廃する自治体もある中、100歳を残したのは良いと思う。
見直し案に賛成する。
- 高齢化に伴い、致し方ないと考える。
- 新しい福祉サービスに回せるのであれば賛成である。
- 100歳のみとして良いと思うが、その代わりに、その下の年齢層の方々を対象とした福祉サービスの拡充を行うようにしていくのがよいと思う。

2 贈呈額（当初案「10万円」を改め「5万円」）について

- 100歳になって自分の判断でお金を使用することは多分難しいと思うので、現行どおりで良いのではないかな。
- 特記なし、同意する。
- 3万円でも良いかと迷う面もある。
- 100歳で5万円と思うが、近隣自治体の相場であればよいと思う。
- 適当と思う。
- 100歳は廃止で良い。
- 廃止によって削減された予算から見ると少ない気もするが、他自治体の額からみれば妥当である。
- 100歳の方も増えると思うが、祝金は頂けたらうれしいと思う。
- 金額もいいと思う。100歳になると使い方やご自身で買い物にも行けなくなると思う。
たぶんご家族功労金みたいになるが、全然良いと思う。
- 近年の物価の高騰もあり、また、お祝いとしても5万円以上の額が適していると思う。

3 住所要件（当初案「1年以上」を改め「3年以上」）について

- 100歳を対象とするならば「3年以上」で良いと思う。
- 特記なし、同意する。
- 妥当と考え、見直し案に賛成する。
ただし、100歳と言われても、自宅で健康で生活している人や施設内でも寝たきりでなく、ある程度、自立している方が大切と思う。
- 3年では短い、少なくとも10年以上。
- 妥当である。
- 「3年以上」ではなく「5年以上」としたらどうか。
- 「本町での貢献」というキーワードであれば、10年でもよいかと思う。
- 良いと思う。ただ、100歳にしている時点で、あまり意味ないかもしれない。
99歳で引っ越す方はそうそういないでしょうし。
- 異存ありません。
- 異議ありません。
- 資料からは「1年以上」から「3年以上」に変更することの根拠がみつけれなかったため、好し悪しに迷う。

4 その他

- あまり意味のない事業と思え、廃止したほうが良い。
- 楽しみにしている方もあると思うので、周知の方法は、その予算の使い方を周知することが大切である。
- 変更に伴い浮いた分について、高齢者向けの様々な事業の充実・強化に向けるよう、検討をお願いする。
- 88歳（年齢は吟味する）で合同昼食会の企画。
アンケート等で何が長寿祝としてうれしいか、声を多くの者より意見を集める。
- ニュース等を見る限り、見直しは妥当。長寿のお祝いは各々の家族でやれば良い。
- 高齢者福祉サービス事業に入らないかもしれないが、介護用品支給事業の対象者を広げていただきたい。軽度の尿漏れのある方もおり、リハビリパンツやパットの金銭的負担が大きいため。
- 財政が厳しいのは理解できる。しかしながら従来の贈呈事業をいきなり縮小するのは抵抗がある。住民の中には次は自分がもらえると楽しみにしている方もいると考えると段階的に縮小していくのがいいかと思う。
敬老の事業についても、町主催と社協主催が協同開催になるように、少しずつ重複する事業は整理していく。この考え方は必要だと思う。
- 祝金は訪問で渡すとか、振り込むとか、統一した方がよい。

（以 上）